

第13回総長選考・監察会議議事要旨

1. 開催日時：令和7年3月14日（金）13：30～15：16

2. 方 法：オンライン会議（Z o o m）

3. 出席者：遠藤、国谷、國土、酒匂、佐藤、関根、板東、浦野、杉山、中島、
中西、南學、納富、兵藤、目黒 各委員

4. 陪席者：亀井、山口 各監事

5. 議 題

- 1 総長の賞与に係る職務実績評価について
- 2 令和7年度の総長選考・監察会議への申し送り事項について
- 3 求められる総長像について
- 4 その他

6. 配付資料

- 1－1 総長の賞与に係る職務実績評価の実施について（案）
- 1－2 総長の賞与に係る職務実績自己評価書（案）（2024年度実績）
- 2 令和7年度の総長選考・監察会議への申し送り事項（案）
- 3－1 次期総長選考に向けた課題検討
- 3－2 求められる総長像（令和2年4月28日 総長選考会議）
- 3－3 求められる総長像（平成26年7月8日 総長選考会議）
- 4－1 令和7年度総長選考・監察会議日程（第1次案）
- 4－2 第11回総長選考・監察会議議事要旨（案）
- 4－3 第12回総長選考・監察会議議事要旨（案）

7. 参考資料

- 1 総長の賞与に係る職務実績の評価について
- 2 東京大学憲章
- 3 他大学等の総長像等
- 4 次期総長選考に向けた主な検討スケジュール（イメージ）

8. 議事

議事に先立ち、議長から、次期総長選考に関する具体的な制度設計の検討を円滑に進めるため、法律分野の知見を有し、本学のガバナンスに精通する法学政治学研究科の穴戸教授及び社会科学研究所の田中教授から助言をいただくことについて、必要性を認めた旨の報告があり、本日陪席いただける田中教授の陪席について賛否が諮られ、出席委員から異

議はなく、了承された。

1 総長の賞与に係る職務実績評価について

議題1に関し、議長代行及び事務局から、配付資料1-2に基づき説明があり、議長から、令和6年度の総長の賞与に係る職務実績自己評価書を配付資料1-2のとおりとすることについて、賛否が諮られ、出席委員から異議はなく、了承された。次いで、議長から、配付資料1-1及び参考資料1に基づき、来年度の当該評価の実施スケジュールについて説明があり、を配付資料1-1及び1-2のとおり依頼することについて賛否が諮られ、出席委員から異議はなく、了承された。

2 令和7年度の総長選考・監察会議への申し送り事項について

議題2に関し、議長代行から、配付資料2に基づいて説明があり、議長から、次年度の総長選考・監察会議に申し送る事項を配付資料2のとおりとすることについて賛否が諮られ、出席委員から異議はなく、了承された。

3 求められる総長像について

議題3に関し、事務局から、配付資料3-1から3-3並びに参考資料2及び3に基づき、説明があった。次いで、議長代行から、総長選考・監察会議学内ワーキング・グループの検討結果について説明があり、議長から、求められる総長像の具体化に関する検討の方向性を、(a)現行維持とすることについて賛否が諮られ、出席委員から異議はなく、了承された。次いで、次期総長に求めていくべき資質や能力について、意見交換が行われ、出席委員から、配付資料3-3の2について「現代社会の要請に応え」という記載が受動的だと捉えられるのではないかと意見があり、「現代社会の要請に能動的に応え」とすることが確認された。

4 その他

・次期総長選考に向けた課題に関するアンケートについて

議長から、第12回総長選考・監察会議において審議した次期総長選考に向けた課題に関するアンケートについて、3月4日に部局長宛に依頼をしたこと及び来年度の第1回総長選考・監察会議において、結果をお示しする予定である旨の報告があった。

・録音データの取扱いについて

議長から、録音データの取扱いについて、席上配置資料「会議の録音データの取扱いに関する申合せ」に基づいて、説明があった。次いで、議長から令和5年度の録音データの廃棄について諮ったところ、出席委員から異議はなく、承認された。

・令和7年度の日程案について

議長から、令和7年度総長選考・監察会議の日程について、次期総長選考に向けた検討課題が多数あることに伴い、臨時開催のための日程調整を行っている旨の説明があり、事務局から、配付資料4-1及び参考資料4に基づいて、来年度のスケジュールについて、説明があった。

・令和7年度の議長代行について

議長から、来年度は例年より多くの開催が予定されており、来年度の第1回総長選考・監察会議において選出される議長が出席が困難となる場合も滞りなく議事を進行するために、議長代行を2名とする体制も考えられる旨の発言があり、出席委員に意見を求めたところ、特に意見はなく、議長から、来年度の議長に、議長代行を2名とする体制について検討いただきたい旨を申し送るとの発言があった。

以上